

11/11(土)に70期企業講座が行われました。様々な分野の会社や団体にお越しいただき、貴重なお話を伺いました。参加した生徒からは「自分の中で柔軟な発想を生み出すことの大切さがよくわかりました。」「環境のために企業としてどのような工夫ができるのか知ることができたのも貴重な経験ができました」「私はいま進路について考えていて、とくに企業について知りたかったので、お話ただけて有難かったです。会社のおおまかな構成や、SDGs に対する取り組みについても聞くことができ、自分の視野も広がりました。」などの感想が寄せられ、SDGs から進路のことまで多岐に渡って刺激を受けた様子が見受けられました。以下はそれぞれの企業の講座内容です。

### Meat Free Monday All Japan

食と地球環境との深い関わりを、日本が誇る古来からの原風景「里山」の素晴らしさの観点からお話をいただきました。何十年も何百年も先を見越して、人々が潤い繁栄できるように作られた日本の「里山」をモデルに、食の大元となる豊かな土壌や種を再生し、地域の生態保全のための取るべき施策を考え実行していこう、という内容の、共感点の多い考えさせられた講義でした。生徒たちは、グループごとに食の安全と地球環境を守るために自分たちには何ができるかを考え、発表を行いました。その後100%大豆でできた肉（ソミート）を皆で試食しました。生徒は一様に、「美味しい！」と絶賛でした。



### 大東建託株グループ



「社会課題を解決する「賃貸住宅とは」？」をテーマに、大東建託の事業をご紹介いただいた後、「ミニ住宅コンペ in 南高」と題して、様々な社会の課題に目を向けよりよい暮らしを実現する賃貸住宅についてのワークショップを行いました。太陽光を利用する斬新なアイデアなど、高校生ならではの発想豊かな未来の住宅が多く考案され、住まいについての関心が高まるとともに、環境や将来のことを主体的に考える有意義な時間となりました。

### 株式会社マクニカ

マクニカ運営のレベル4の自動運転バスに試乗し、その後、生成AIで画像を生成しローランド社のジェットインクプリンターでプラスチック容器にその画像を印刷する、という2つの鮮烈な未来の一端を体験しました。何より大切なことは、マクニカの目標（purpose）にあるとわかりました。『変化の先頭に立ち、最先端のその先にある技と知を探索し、未来を描き“今”を創る。挑戦心をもった開拓者ファーストペンギンであり続ける。』



## 横浜緑地株式会社



公園を拠点にみどりを通じた地域の活性化・SDGs活動を展開されている横浜緑地株式会社様をお招きし、「ミツバチが『環境』を教えてくれる？」をタイトルに、講義とワークショップをおこないました。講義では、公園事業やミツバチの生態、採蜜の様子を説明していただき、ワークショップではミツバチの飼育を通じた啓蒙活動のアイデアを考えました。途中、一匹のミツバチが脱走するハプニングもありましたが、その可愛らしさと存在の大きさを再認識する有意義な時間になりました。

## 株式会社京急百貨店

京急百貨店についてのクイズのあと、夏休みに行われたSDGsフェアでのイベントをご紹介いただき、来年度のSDGsフェアで何をするかの企画会議を行いました。生徒は「間伐材の活用方法を模索している」という京急百貨店さんのお話から、「木のストローを作る」「木で下敷きを作る」「ウッドアロマスティックにする」といった案を出したり、「ペットボトルを再利用して流しそうめんをする」といった季節感を意識した提案をしたりしていました。また、ペットボトルを再利用したランタンづくりも行いました。クリスマスをテーマに、各々工夫を凝らして素敵なランタンを作成していました。このランタンは、11/30(木)頃から京急百貨店の3階連絡通路にて展示される予定です。訪れた際には、ぜひご覧ください。



## ライオン株式会社



ライオン株式会社の亀田様より、生活に密着した商品を企画開発することで人々の習慣に働きかけ、生活を豊かにしてきたライオン株式会社の取組について学びました。後半は、グループに分かれてSDGs課題の解決につながる商品企画を行いました。目標をさだめ、課題に対してどのようにアプローチするのかを検討し、企業の企画会議のように意見を交わしながら様々な商品のアイデアを生み出すことができました。

## 横浜F・マリノス

横浜F・マリノスは、横浜市・横須賀市・大和市をホームタウンとするプロサッカークラブです。クラブとして、「人々や社会に“夢”と“活力”をもたらす存在になる」ことを目指し、様々な取り組みを行っています。その一つとして毎年ホームゲームで開催されている「SDGsフェス」について、実際の出展を目指しグループワークを行いました。高校生ならではの発想を活かしつつ、様々な目線から考える良い活動となりました。

